

# 県内の工業関係 最優秀賞に足利大付属 高校生徒研究発表

第33回工業関係高校生徒研究発表大会が1月20日、オンラインで開催され、県内12校の代表生徒が日頃の学習の成果を披露した。最優秀賞には足利大付属高の「建築科におけるSDGsの取り組み—両崖山復興プロジェクトを事例として—」が輝いた。

同校は2021年2月に発生した足利市の両崖山火災によって消失した見晴らし台を製作した。火災の原因がたばこの不始末と推定されたことなどを踏まえ、「住み続けられるまちづくりを」など持続可能な開発目標(SDGs)の観点を採り入れながら施工に当たった。

優秀賞には宇都宮工業高の「うつのみやイルミネーションへの参加～節電でも、心の明かりは灯し続けよう～」と、真岡工業高の「キリコお掃除ロボットの製作」が選ばれた。

## 両崖山に見晴らし台

## SDGsの観点採り入れ施工



最優秀賞に輝いた足利大付属高の生徒たち

最優秀賞と優秀賞の3校は、今月開催される北関東三県工業高校生徒研究発表大会に出場する。

(大貫葉伊子)